

様式 F - 7 - 1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成30年度）

所属研究機関名称		大妻女子大学	機関番号	32604
研究代表者	部局	文学部		
	職	准教授		
	氏名	古川 敏明		

1. 研究種目名 若手研究(B) 2. 課題番号 17K18078

3. 研究課題名 ハワイ語ラジオ番組を事例とする危機言語の復活とメディア利用に関する会話分析的研究

4. 補助事業期間 平成29年度～令和2年度

5. 研究実績の概要

消滅の危機に瀕した言語（危機言語）の記述研究は、文法書や辞書の作成に重きが置かれ、話者間の相互行為という視点が十分でなかった。本研究は相互行為という視点から、危機言語の話言葉データを収集・分析し、従来の危機言語研究を補完・発展させることを目的としている。危機言語を復活させる試みの成功例としてはハワイ語がある。しかし、ハワイ語の場合も話者間の相互行為という視点が十分でなかった。本研究の具体的な目的はハワイ語ラジオ番組の会話分析を通じて従来の記述研究を補完し、ハワイ語の復活とメディアの関係性を明らかにすることである。

本研究では先住民語であるハワイ語ラジオ番組「カ・レオ・ハワイ」（以下KLH）における言語使用を分析している。KLHは「ハワイの声」という意味で、第1期（1972年から1989年）と第2期（1991年から2000年）からなる。第1期はハワイ語の記録を目的とし、番組パーソナリティーが主に年配の母語話者をゲストとして招いてさまざまなトピックについて会話をし、時折、電話をかけてくる別の母語話者であるリスナーたちとも話すという番組形式であった。一方、第2期は母語話者の高齢化が進み、ゲストはハワイ語のイマージョン教育（没入教育）を受けた新たな、若い母語話者や大学などでハワイ語を学習した第2言語話者が占めるようになったという特徴がある。

KLHの第1期と第2期に見られる言語実践をより詳細に比較していくために、平成30（2018）年度も研究協力者の協力を得て引き続き番組音声ファイルの文字起こしを進めた。特に第2期を中心に番組音声ファイルの文字起こしを進め、データベースを拡充するとともに、データの分析を行った。

6. キーワード

ハワイ語 ラジオ番組 危機言語 メディア 談話分析 会話分析

7. 現在までの進捗状況

区分 (2) おおむね順調に進展している。

理由
 ハワイ語ラジオ番組「カ・レオ・ハワイ」（以下、KLH）の第1期と第2期を比較するため、それぞれの期間から数点ずつ、特に第2期を中心に番組音声ファイルを文字起こしし、分析のためのデータ構築を進めた。また、予備的な分析結果を第二言語による相互行為をテーマとする国際学会で報告した。

1 版

8. 今後の研究の推進方策

以下の3点に沿って研究を推進する。(1)ハワイ大学のリポジトリより、番組第2期の音声ファイル入手し、各番組の情報を集約したカタログの見直しを完了する。(2)前年度と同様の体制で番組第1期及び第2期、特に第2期の録音データの文字起こしを進める。(3)研究協力者による文字起こしを元に研究代表者が精緻化・分析を行い、類似例を分類・収集する。また、現地調査と学会発表で得たフィードバックを元に、注目すべき現象を整理する。

9. 次年度使用が生じた理由と使用計画

国外で行われる国際学会で発表を予定していたが、やむを得ない事由により、学会出張を取りやめなければならなかった。このキャンセルによって次年度使用額が生じた。2019年度も国際学会での発表を予定している。また、追加で行う現地調査の準備を進めており、無理なく次年度使用額を含む予算を使用することになる計画である。

10. 研究発表（平成30年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 1件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 Furukawa, Toshiaki	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Place and membership categorization in a Hawaiian language radio show	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Pragmatics & Society	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 古川敏明	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 第二言語としてのハワイ語使用に関する会話研究：母語話者カテゴリーMana'le'oをめぐるやりとり	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 応用会話分析研究：制度的会話におけるカテゴリー化と連鎖構造 言語文化共同研究プロジェクト2018	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計1件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 1件）

1. 発表者名 古川敏明
2. 発表標題 The construction of L2 user identity in a Hawaiian language radio program
3. 学会等名 2nd CAN-Asia Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計0件

1 1. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件（うち出願0件 / うち取得0件）

1 2. 科研費を使用して開催した国際研究集会

計0件

1 3. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

-

1 4. 備考

-